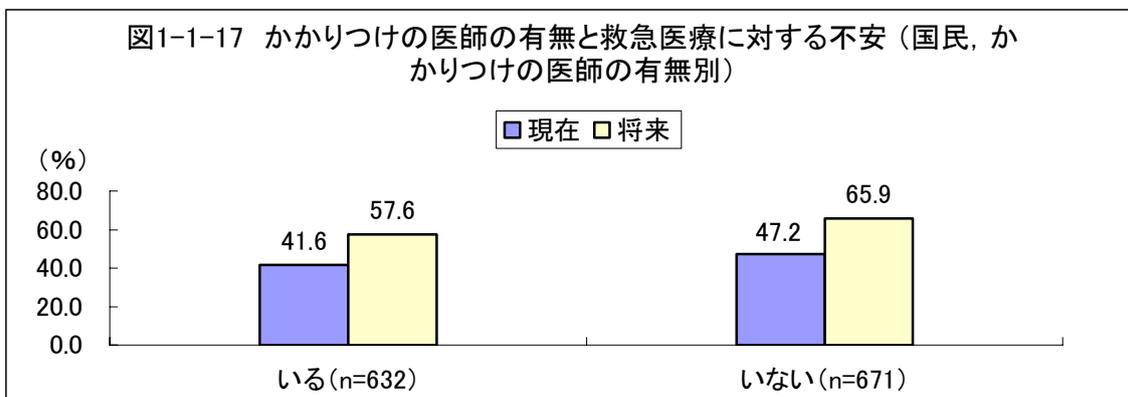


かかりつけの医師がいる人は、いない人に比べて不安が低い傾向がみられた。たとえば地域の救急医療については、かかりつけの医師が「いる」国民は「いない」国民に比べて、現在、将来ともに不安を感じている人の割合が低かった（図 1-1-17）。



かかりつけの医師がいる国民が、医師に期待する項目（専門医への紹介以外）では、「総合的に診るための幅広い最新の診療能力」が 54.0%でもっとも高く、つづいて、「夜間・休日を含めた 24 時間対応」が 45.7%、「他の医療機関と検査結果などの診療情報を共有できること」が 44.6%であった（図 1-1-18）。

かかりつけの医師がいる患者については「他の医療機関と検査結果などの診療情報を共有できること」が 53.6%であり、「総合的に診るための幅広い最新の診療能力」（55.2%）に近い比率であった。

